

公益社団法人福島青年会議所中期ビジョン 2024–2028

明るい豊かな社会

FUTURE

ひと・まち・まつりが相互の関係性を築きながら、
明るい豊かな社会に向かって、三重螺旋状に紡いでいきます。

次世代のリーダーたちが育成され、
地域を活性化することを目指します。

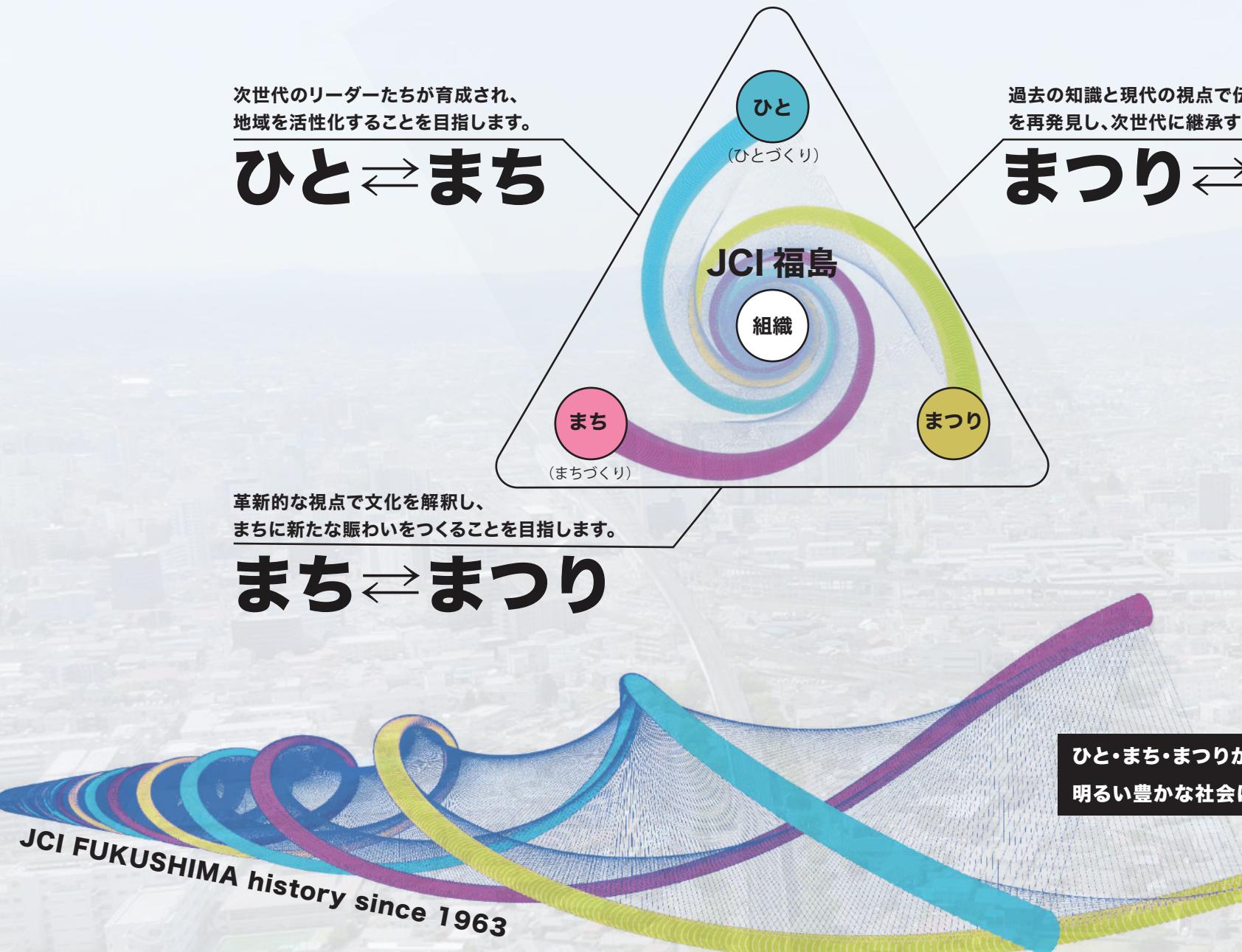
ひと↔まち

過去の知識と現代の視点で伝統文化の新たな価値
を再発見し、次世代に継承することを目指します。

まつり↔ひと

革新的な視点で文化を解釈し、
まちに新たな賑わいをつくることをを目指します。

まち↔まつり



"次世代リーダーの育成と地域の再燃:未来を創る力"

ひと

青少年の成長を促進し、次世代のグローバル人財を育成することを目指します。

(ひとづくり) リアルな体験/教育・運動・体験イベント/国際交流/学校教育との差別化/組織の連携
青少年の育成/デジタルデバイスの適切な利用

"まちの資源再発見と活性化:隠された魅力の探求"

まち

まちの資源を再発見し、その魅力を最大限に引き出し、地域の活性化を目指します。

(まちづくり) 行政の協力/資源の再発見/中心市街地の利便性/若者が集まることができる地域ブランドの強化
空き施設の活用/地域の特色活用/安心・安全なまちづくり

"伝統文化の継承と再発見:歴史と革新の交錯"

まつり

地元の人々や組織、企業と連携し、伝統文化を次世代へ継承することを目指します。

まつり/歩行者天国/メディアミックス/伝統文化/地域協力/若者参加/観光プラン/マーケティング

"青年の誇りと組織の再編成:繁栄の新章を拓く"

組織

役割を明確化し、メンバー全員が主体性を持って参加できる組織を目指します。

組織責任/権限明確化/モチベーション/DX教育/メンバーケア/メンバーニーズ
開拓的な会議/情報伝達/タイムマネジメント/ホスピタリティ

災害
協定
関係

"防災訓練・教育の充実、避難場所と情報発信体制の整備"

防災意識の向上を目指します。

学校/地域団体/防災訓練・教育・意識/避難場所の整備/防災情報の発信体制/啓発活動

中期ビジョン策定の目的

『中期ビジョン』策定の目的は、当会議所の活動に一定の運動性を持たせること。青年会議所は、1年毎に役割が変わる単年度制を採用しています。自由な活動展開ができる一方、単発的で継続性に欠けるリスクも伴っています。『中期ビジョン』を策定することで、最上位活動指針と理事長所信の運動を図り、年度を越えた継続的な活動展開が可能になると考えます。すでに「JCI Creed」や「JCI Vision」「JCI Mission」「綱領」等の世界および日本で統一された活動指針が定められています。それらに基づいて毎年「理事長所信」を表明しており、これにより当該年度の活動指針が示され、組織構成がなされ、各委員会の「基本方針」が定められています。

『中期ビジョン』は、「JCI Creed」をはじめとする永続的な活動指針と単年度の「理事長所信」をつなぐ中期計画と位置付けて策定をしました。

(毎年度、中期ビジョンの見直しを計ることで、一部改訂する可能性があります。)

継続事業に関して

我々は事業を単年度で運営しながらも、その事業が成熟した段階で引渡し先を検討します。

※「成熟の定義」を、事業費・参加員数・満足度の3つの指標とします。

継続事業一覧

- ・わんぱく相撲福島県北場所
- ・信夫山パークランニングレース
- ・暁まいり福男福女競走